

ちっちゃな自然 み~つけた

NO. 138

自然を愛そう那須塩原

那須野が原オリジナルの “オレンジオサムシ”!?



オレンジ色のアオオサムシ 撮影日時:2015/6/2 18:12 撮影場所:赤田山

アオオサムシって?

体長約3cm程度。体色は和名の由来となった金緑色のほか、赤銅色、紅銅色、黄銅色など変異がある。青森県から本州中部にかけて広く分布する。地域変異が大きく、9つの亜種に分けられている(那須野が原に生息するのはキタアオオサムシ)。雑木林や草地などさまざまな環境に生息する。成虫は主に5~8月に活動する。



ミミズを食べるクロオサムシ

今回紹介するオサムシは、地上を歩き回る大きな甲虫の仲間、昆虫が大好きだった漫画家・手塚治虫のペンネームのモデルとしても知られています。カブトムシやクワガタムシは、体を守る硬い前ばねと飛ぶための後ろばねをもっていますが、オサムシの多くは後ろばねが退化して飛ぶことができません。その代わり脚が非常に発達していて、地表をすばやく歩くことができます。オサムシは雑食性で、おもにカタツムリやミミズ、昆虫の幼虫などに噛みつき、体液を吸います。また、果実を食べることもあるようです。

飛ぶ能力を失ったオサムシの仲間は、大きな川や切り立った崖など、歩いて越えられない環境があると移動できません。そのため、同じ種類でも地域によって色や形が少しずつ違います。例えば、アオオサムシは通常緑色の光沢をもちますが、那須野が原にすむアオオサムシは明るいだいだい色をしていて、通称オレンジオサムシと呼ばれています。

ちなみに、野外でオサムシを見つけても、決して素手でつかもうとしないでください。オサムシは外敵から身を守るために、腹の先から強烈な液体を発射するという隠し技をもっているのです。それが手に付くともう大変。2・3日は独特な臭いに悩まされることになります。興味のある方は一度試してみてください。

じゅんじ

編集後記

今年も消防団ポンプ操法競技会の季節が巡ってきました。歯を食いしばり必死に走る選手たち。普段の生活の中ではめったに見ることのできない彼らの表情を見ることができます。ちなみに私も団員の一人。大会の様子を撮影するたびに、私も十数年前にホースを担いで全力ダッシュしていたことを思い出します。団員が減り続けている消防団。少しでも多くの青年たちが興味を持ってくれるとうれしいです。入団してくれるともっとうれしいです。(興野)

「すごくおいしい!」。笑顔で料理を口に運ぶ消費者の皆さん。それをうれしそうに眺める生産者2人と宇野さん。「特産品」という1つの物でつながるさまざまな立場の人。普段何気なく消費している製品の向こう側に、どんな物語があるのか…色々と考えさせられる企画でした。皆さんは那須塩原ブランドを何品知っていましたか。プレゼント企画に応募いただき、ぜひ直接感じてみてください。(小林)

※ A bientot : 日本語の「またね」を意味するフランス語

À bientot!
アリスでした



アリス パッキエ

Profile
本市の国際交流員(CIR)。フランス出身。平成25年7月から本市に勤務。

ありがとう! アリス
アリス・パッキエ国際交流員は、7月28日をもって3年間の那須塩原市での任期を終了しました。保育園や小中学校、高校などでフランス文化についての講話、フランス語や料理教室、ラジオの取材先などで多くの市民の皆さんと交流し、異文化への理解の促進に大きく貢献しました。今後のますますの活躍をお祈りします!

虹色に輝く交流の架け橋

私は那須塩原市初の国際交流員で、市民の夢や期待と自分の目標とを調和させるために活動してきました。それはまるで、真っ白な画用紙をもらい、そこにさまざまな色で虹を描くような日々でした。

一步を踏み出すチャレンジャーの色、未来を切り拓くエネルギーのオレンジ色、人々を照らす日の光の黄色、自然の緑色、温泉の青色、那須塩原市とフランスに対しての愛色(藍色)、そして最後は私の一番好きな紫色です。それは、チャレンジャーの色と、温泉を象徴する青色を合わせてできる色。那須塩原に来て3年が経ち、このまちの色に浸るなかで自分の「虹色」を発見しました。

日本の文化に触れ、弓道や合気道



などの新しい趣味もでき、とても充実した毎日でした。虹はフランス語から日本語に直訳すると「空にかかる弓」です。私の活動によって、空にかかる弓(虹)のように両国の交流の橋渡しをすることができて嬉しいです。

皆さんのおもてなしの心と素晴らしい経験の数々を思い返すと目に涙が滲みますが、これからも頑張っていきます! さようならではありません。新天地での活動は、アリスの二次会のスタートです!

なすしおぼら / 珍百景 / 明治時代の巨大臼



投稿者 H・Tさん(70代男性 越堀)
撮影場所 越堀(撮影日 H28.7.17)

古くから我が家で代々引き継がれてきた臼。太い木を削って作られたこの臼で、毎年正月の餅つきをしました。今ではこの臼が、我が家の歴史を一番知っている最長老です。

応募はこちら



3 2 5 8 5 0 1

お手数ですが
52円切手を
貼ってください

那須塩原市役所 シティプロモーション課 「広報なすしおぼら係」行

ご住所

お名前 (掲載する場合は実名ではなく、イニシャルで掲載します)
ペンネーム
(希望者のみ)

☎電話

年齢 歳 性別 男・女

読者プレゼントに応募 する・しない